

第一号議案：令和2年度事業報告並びに決算報告について

令和2年度事業報告書

1. 令和2年度に開催した主な会議・会合

(1) 第100回定時社員総会 当初開催予定日：令和2年6月19日（みなし決議）

令和2年6月1日代表理事平塚惣一は、社員全員に対して第100回定時社員総会開催の中止と一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項及び第59条の規定に基づき、第100回定時社員総会の目的である事項に付いて、書面による意思表示を求めました。結果、第100回定時社員総会の目的事項に付いては、6月19日までに社員全員から同意の意思表示が得られたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項及び第59条に基づき、当該提案を可決する旨の社員総会の決議及び報告事項の社員総会への報告があったものとみなして「みなし決議」された。

第一号議案：定款の一部改定について

第二号議案：平成31年度事業報告並びに決算報告について

第三号議案：令和2年度事業計画案並びに収支予算案について

（報告事項）：令和2年度特別会員の推薦について

(2) 理事会

i) 第1回理事会 当初開催予定日：令和2年5月25日（開催中止）

令和2年3月16日付で本部より送付した海本庶第56号「平成31年度第4回理事会開催中止とそれに伴う令和2年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の承認に関する件」で説明した通り、法律に基づいた運用に則って、第1号議案及び第2号議案の決議を定時社員総会（令和2年6月19日開催予定）に委ねることとした。

議案1：定款の一部改定について

議案2：平成31年度事業報告並びに決算報告について

報告事項：①特別会員の推薦について

②公社債・投資信託運用状況について

③平成31年度下期会長及び専務理事の職務執行状況報告

ii) 第2回理事会 令和2年11月16日開催

議案1：令和3年度社員推薦委員会委員の承認について

議案2：令和3年度社員総数の決定について

議案3：令和2年度決算に向けての「基本財産取り崩し」について

議案4：企画委員会（10月28日開催）提案の「海洋会の行く末」について

報告事項：①令和2年度海洋会ボランティアクラブ支援金の活用について

②令和2年度上期収支決算報告

③令和2年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告

iii) 第3回理事会 令和3年3月19日開催

第3回理事会は、遠隔出席と対面出席の組み合わせで実施した。理事定数20名のところ遠隔出席者10名、対面出席者4名、合計14名の出席者で、定款38条の規定により、本会は成立した。

議案1：令和3年度第101回定時社員総会開催日について

議案2：令和3年度事業計画（案）について

議案3：令和3年度収支予算書（資金収支）（案）並びに令和3年度正味財産増減予算書内訳表（案）について

議案4：「海洋会の行く末」検討委員会（仮称）委員長の推薦について

報告事項：①令和3年度社員選挙結果の報告

②海洋会創立100周年記念事業特設委員会報告

③専務理事が事務局長業務を兼務する件について

(3) 監事監査 令和2年5月14日開催

平成31年度収支決算、財産目録並びに業務執行に付き詳細且つ精緻に監査を実施した結果、何れも合法、適正且つ正確であることが確認された。平成31年度事業年度における公益目的支出計画の実施状況は、法令及び定款に従い正しく実施されていることが確認された。

(4) 常設委員会（主たる審議、調査並びに意見交換事項）

i) 企画委員会

第1回企画委員会 令和2年10月28日開催

議案1：「海洋会の行く末」について

ii) 会務委員会

第1回会務委員会 当初開催予定日：令和2年5月19日（開催中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第1回会務委員会は開催中止とした。

第2回会務委員会 令和2年11月10日開催

議案1：令和3年度社員推薦委員会委員の承認について

議案2：令和3年度社員総数の決定について

議案3：令和2年度海洋会ボランティアクラブ支援金の活用について

議案4：令和2年度決算に向けての「基本財産取り崩し」について

議案5：企画委員会（10/28開催）提案の「海洋会の行く末」について

報告事項：①令和2年度上期収支決算報告

②令和2年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告

第3回会務委員会 令和3年3月12日開催

議案1：令和3年度事業計画（案）について

議案2：令和3年度収支予算書（資金収支）（案）について

議案3：ボランティア活動支援規程に基づく令和3年度ボランティア活動補助的支援金の支給承認について

- 報告事項：①海洋会創立100周年記念事業特設委員会の活動報告
②海洋会創立100周年記念事業ご寄附・入金状況について

iii) 海事問題調査委員会

- 第1回海事問題調査委員会 令和2年12月14日開催（ZoomによるTV会議方式）
令和2年度海事問題調査委員会「報告書（集約版）」及び「Abstract（案）」について、
各委員との意見交換を行い、本年度の取り纏め内容を確認・確定させた。
- 第2回海事問題調査委員会 令和3年4月2日開催（ZoomによるTV会議方式）
議案1：海洋4月号掲載報告書についての総括
議案2：令和3年度における「海事問題調査委員会取り纏めテーマ」について
令和3年度活動テーマについてブレインストーミングを行った。
議案3：当面の日程について
5月末乃至は6月初旬に、令和3年度第1回委員会の招集（基本遠隔）を
予定する。

iv) 編集委員会 年4回開催

- 第1回編集委員会 令和2年4月15日開催（書面審議）
第2回編集委員会 令和2年8月17日開催（書面審議）
第3回編集委員会 令和2年10月22日開催
第4回編集委員会 令和2年12月17日開催（書面審議）

- (5) 支部長連絡会議 当初開催予定日：令和2年5月25日（開催中止）
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、支部長連絡会議は開催中止とした。

(6) 海洋会創立100周年記念事業特設委員会

- 第18回創立100周年記念事業特設委員会 令和2年4月17日開催（書面審議）
議案1：本部主催祝賀会7月18日開催の「延期」について
議案2：記念特集号「山本相談役・平山氏が企画した『対談原稿』」について
議案3：創立100周年記念事業の進捗状況
議案4：今後の進め方（今後の残課題・日程について各委員の意見集約）

- 第19回創立100周年記念事業特設委員会 令和2年5月21日開催
議案1：本部主催祝賀会8月30日への「開催延期」決定を踏まえた今後について
議案2：記念特集号「山本相談役・平山氏が企画した『対談原稿』」について
議案3：創立100周年記念事業の進捗状況
議案4：今後の進め方（今後の残課題・日程について各委員の意見集約）

- 第20回創立100周年記念事業特設委員会 令和2年12月21日開催
議案1：海洋会創立100周年記念事業関連支出実績報告
議案2：創立100周年記念事業の進捗状況
議案3：今後の進め方（今後の残課題・日程について各委員の意見集約）
- 第21回創立100周年記念事業特設委員会 令和3年2月19日開催

議案 1：創立 100 周年記念事業の進捗状況

議案 2：今後の進め方（本部主催祝賀会・支部主催行事（令和 2 年度開催見送り）を踏まえ今後について結論だし）

(7) 「海洋会の行く末」検討委員会

東京、神戸を母校とする横断的同窓会組織の役割は、平成 16 年 4 月の大学改編による母校の変化によって、特に若年層の意識離れや母校学生の勧誘が制限される状況もあり、将来の継続性に大きな不安を抱えているのが現状である。そんな中、若年層の会員数減少と在籍会員数の減少傾向は止まらず、平成 31 年度の赤字決算を回避するため、基本財産（公社債投資信託）を売却し補填せざるを得ない状況に陥った。

こうした海洋会の現状を鑑みて、11 月 10 日開催された会務委員会に於いて「海洋会の行く末」について議論を進めるため、早急に有識者による「検討委員会（仮称）」を立ち上げて議論を開始するよう提案を受けた。

この提案を受けて、11 月 16 日開催された令和 2 年度第 2 回理事会において「海洋会の行く末」検討委員会を設立することが議決され、引き続いて開催された令和 2 年度第 3 回理事会（3/19 開催）において「海洋会の行く末」検討委員会の委員長に小島茂氏を推薦することが議決された。「海洋会の行く末」検討委員会の委員構成は下記の通り。

委員長：小島 茂（東京 N17）

委員：稲石正明（東京 E26）、内田 誠（神戸 E26）、堀 晶彦（東京 N29）、
飯田敏夫（東京 N21）、葛西弘樹（東京 N25）、掛谷 茂（東京 E22）、
阪本敏章（神戸 N27）、庄司 勉（東京 E28）、遠藤 充（東京 E38）、
門野英二（東京 N30）、桑田 守（神戸 E15）、陶山和民（東京 E19）、
福田貴之（神戸 E20）、

事務局：会長平塚惣一（神戸 N21）、専務理事佐田昌弘（神戸 E20）

(8) 主な会合

i) 会員懇親会 当初開催予定日：令和 2 年 6 月 19 日（開催中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第 100 回定時社員総会開催が中止されたことに伴い、会員懇親会も中止された。

ii) 新年賀詞交歓会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新年賀詞交歓会は開催中止とした。

2. 事業関係

(1) 船員・海事に関する調査研究

i) 海洋会「海事問題調査委員会」では、「海事世界における新技術の動向」にフォーカスし、そこから見えてくる課題を取り上げて議論し、調査研究を行ってきた。

今回は、海外の船級協会である「DNV GL」が、令和 2 年 2 月 27 日に発表した「Technology Outlook 2030」を取り上げ、2030 年までにどの様な技術が重要となり、

どの様な傾向に注意を払うべきか、社会と（海事）産業は2030年に向けてどの様な準備をするべきか、について議論を行った。

- ii) 最終的には、「DNV GL Technology Outlook 2030 を読み解く」と題した報告書を取り纏めて、「海洋」4月号に掲載した。

(2) 海事思想の普及

- i) 例年、海洋会ボランティアクラブ「明治丸グループ」を中心として、明治丸、百周年記念資料館及び明治丸記念館の見学者に対する案内及び説明を通じて、海事思想普及活動に努めてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、見学者に対する案内及び説明は中止とした。
- ii) 神戸大学海事科学部附属海事博物館一般公開でのガイド活動への支援を、ボランティアクラブ「かもめ会」を中心にして行った。

(3) 会誌「海洋」の発行

- i) 年間発行部数と配布先

会誌「海洋」	7月号	10月号	1月号	4月号
発行部数（印刷総数）	4,350	4,320	4,320	4,460
① 会員送付数	4,231	4,201	4,201	4,341
② 海技大学校贈呈	16	16	16	16
③ 神戸大学贈呈	56	56	56	56
④ 東京海洋大学贈呈	47	47	47	47

- ii) 4月号会員送付数（4,341部）の内訳

正会員	3,262部	新入生オリエンテーション用	200部
終身会員	22部	新入生の准員会費入金者用	70部
准員	621部	関係企業への贈呈	88部
		会誌掲載者への贈呈	47部
		事務局のみ	31部
合計	3,905部	合計	436部

(4) 講演会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演会開催は中止とした。

(5) 会館の運営

- i) 本部事務所：テナント2社への賃貸料と第二会議室の貸室料収入で運営
- ii) 横浜会館：テナント4社への賃貸料収入で運営
- iii) 神戸会館：会議室、談話室利用収入で運営

(6) 会員の福利厚生

- i) 会員からの就職、転職等の各種相談を受け付けて、必要な情報提供を行った。

(7) 両大学及び学生との交流等

i) 東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海事科学部

①卒業時の海洋会賞贈呈

イ. 東京海洋大学海洋工学部 (5名)

- | | |
|------------|-----------|
| ・海事システム工学科 | 野村 凌也 (男) |
| ・海事システム工学科 | 田中 裕大 (男) |
| ・海洋電子機械工学科 | 瀧川 大輔 (男) |
| ・海洋電子機械工学科 | 山下 聖人 (男) |
| ・流通情報工学科 | 吉川淳之介 (男) |

ロ. 神戸大学海事科学部 (5名)

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ・グローバル輸送科学科 (航海マネジメントコース) | 竹川 修平 (男) |
| ・グローバル輸送科学科 (ロジスティクスコース) | 木下 茉南 (女) |
| ・海洋安全システム科学科 | 浅倉 奨之 (男) |
| ・マリンエンジニアリング学科 (機関マネジメントコース) | 富田 一輝 (男) |
| ・マリンエンジニアリング学科 (メカトロニクスコース) | 十一 健太 (男) |

②学生を対象とするランチセミナーを実施した。

- イ. 本年度 (第8回) ランチセミナーは、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染拡大の影響を考慮し、オンデマンド方式 (予め講演を動画撮影しインターネット経由視聴する) で講演を行った。講師: 杉本忠氏 (Gard P& I 代表)

(8) 支部活動の支援

- i) 支部長連絡会議 当初開催予定日: 令和2年5月25日 (開催中止)
ii) 支部補給金の配賦

(9) ボランティア活動

- i) 「明治丸」グループ、「ビーチクリーンアップ」グループ共にコロナ禍の景況により、活動を行わなかった。
ii) 深江キャンパスでは、「かもめ会」を中心としたボランティアグループが、①海事博物館ミニ企画展準備作業 ②キャンパス内の通学路の清掃・除草作業 を実施した。

3. 会務関係

(1) 公益目的支出計画実施報告書提出

令和2年6月24日内閣府に、公益目的支出実施報告書を提出した。

(2) 令和3年度特別会員の推薦依頼

- i) 東京海洋大学 5名 → 麻生敏正准教授、市川桂准教授、鹿島英之教授、坂井孝典教授、南清和教授
ii) 神戸大学 3名 → 井尻暁准教授、長谷部正道教授、本田悠介准教授、
iii) 海技大学校 0名

(3) 賛助会員の入会 0名

(4) 新会員及び准員の加入状況

令和2年度に正会員へ新規に入会した人は2名、正会員に再入会した人はいなかった。また、令和2年度に准員へ入会申込書を提出した人は80名（海事システム工学33名、海洋電子機械工学29名、流通情報工学16名、未記入2名）、その中で准員会費10,000円を納入した学生は70名、納入していない学生は10名であった。前年度より20名減少した理由として、コロナ禍でオリエンテーションが開催されず、入会申込書の回収が従来通りに出来なかったことが挙げられる。

(5) 財政上の諸対策

i) 会費納入督促状の送付

① 会費の長期滞納者への督促状送付

会費の長期滞納者へ督促状を送付した。令和2年度は4年（9,600円×4=38,400円）超滞納している会員（以下②番会員と称す）3,478名に対して督促状を送付した結果、のべ43名から1,638,200円の会費が納入された。前年度より9名減少だが566,800円増加。

※金額について、複数年分の会費納入者もいる為人数×年会費の単純計算とはならない。

② 准員登録・入会登録者への督促状送付

- ・入学時に入会申込書を提出したが准員会費未納の学生（准員登録）171名に督促状を送付した。結果、10名から100,000円の入金があった。前年度より9名90,000円減少。
- ・入学時に入会申込書を提出し准員会費未納の卒業生（入会登録）418名に督促状を送付した。今年度の入金はなかった。

③ 新②番会員・新②番会員予備軍への督促状送付

- ・前年度に引き続き、今年度②番会員に落ちた人（新②番会員）75名に対してレッドカード督促状を送付した。結果、8名220,800円が入金。前年度より4名134,400円増加。
- ・次年度②番会員に落ちることになる人（新②番会員予備軍）86名に対してイエローカード督促状を送付した。結果、18名523,900円の入金。前年度より2名減少したが25,500円増加。

ii) 増収対策

- ① 会費の職域毎納入の協力依頼
- ② 郵送ラベル提供等によるクラス会支援を通じての会費請求
- ③ 会誌広告料収入の増収確保
- ④ 横浜海洋会館賃貸料の見直し、共益費の値上げを行っていく。

iii) 諸経費削減対策

- ① 会員有志による会誌「海洋」発送業務による通信運搬費の削減
- ② 各支部に対する経費節減対策の呼び掛け

4. 会員数

会員区分	内容説明	会員数
正会員 (社員選挙の選挙権 及び 被選挙権保有者)	① 令和2年3月31日現在(准員は含まない)	3,305名
	② 令和2年度中に入会した人(会費を納入した人)	+2名
	③ 令和2年度中に再入会した人(会費を納入した人)	0名
	④ 令和2年度中の物故者	-108名
	⑤ 令和2年度中の退会者	-100名
	⑥ 正会員⇔②番・休止会員・住所不明者	+3名
	⑦ 准員会費は未納だったが、卒業後に会費を納入した人	+2名
	⑧ 准員会費も納入済み、卒業後も会費7,200円を納入した人 ※	+30名
	⑨ 准員会費は納入済み、卒業後は会費7,200円は未納な人 ※	+125名
令和2年度末(令和3年3月31日現在)正会員数		3,259名
准員(在学中に准員 会費納入者)	① 准員(准員会費納入済みの在学学生)	308名
	② 准員(准員会費納入済みの卒業生) = 会費免除期間中の人	313名
定款第9条第(4)項により会員資格喪失中の者及び住所不明者(②番会員や休止会員)		6,964名
名誉会員	海事に功労があった者で理事会の推薦を受けた者(後援会会長等)	2名
特別会員	この法人の事業に協力する者で理事会の推薦を受けた者	97名
賛助会員	この法人の事業を賛助する個人又は団体で理事会承認を受けた者	1名
会員合計		10,944名

※正会員⑧⑨は、今年度4月から会費免除期間が切れ会費納入義務が発生した正会員。

(今年度に納めるべき会費の金額：4月～12月 800円/月額×9ヶ月分＝7,200円)

5. 受賞会員

(1) 生存者叙勲(春：3名 秋：3名)

i) 令和2年度春の叙勲 飯田敏夫 久保雅義 塚脇義明

ii) 令和2年度秋の叙勲 甲谷保行 大野 実 米原健一

(2) 褒章(春：3名 秋：8名)

i) 令和2年度春の褒章 田島博之 中下三郎 森口俊樹

ii) 令和2年度秋の褒章 市川 榮 重田秀人 高橋昭二郎 田倉幸秀

戸澤明雄 永田千明 森川 満 吉富静夫

(3) 令和2年度国土交通大臣表彰(11名)

池田隆史 木田久男 松下良興 田仲兎内 上原 雅 中條幸基

増田純夫 草間義夫 齋藤 實 大橋和之 増井 眞

6. 支部の活動状況（総会、各委員会、主要事業のみ記載）

(1) 横浜支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

- ①定期総会 6月30日開催 本人出席6名 委任状82名
- ②常任委員会 年6回開催（4/14、6/9、9/8、11/10、2/9）→ 書面決議とした。
- ③支部委員会 年6回開催（4/14、6/9、9/8、11/10、2/9）→ 書面決議とした。
- ④会館運営委員会 総会開催後開催（6月30日）出席者3名
- ⑤支部監査 6月1日開催 監事2名 事務室長2名（含む交代者）

ii) 支部主要事業

- ①「みなとみどりサポーター」への参加（象の鼻テラス～象の鼻防波堤周辺のゴミ回収）
6/9、9/8、10/13、11/10、1/12、2/9、3/9、参加者数7名

(2) 神戸支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

- 支部委員会 第1回支部委員会 令和2年6月9日開催
- 第2回支部委員会 令和2年10月27日開催

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(3) 東京支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部総会、支部委員会、会合は、全て中止とした。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(4) 北海道支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

10月17日 創立100周年記念行事関係等の打ち合わせを行った。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(5) 函館支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部役員会 2月20日開催 出席者2名

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(6) 東北支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部総会、支部委員会、会合は、全て中止とした。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(7) 千葉支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部総会、支部委員会、会合は、全て中止とした。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(8) 清水支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部役員会 2月19日開催 出席者4名

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(9) 名古屋支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部委員会 ・第1回支部委員会 6月15日開催 出席者13名

・第2回支部委員会 2月23日開催 出席者13名

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(10) 富山支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部総会、支部委員会、会合は、全て中止とした。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(11) 中国支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

支部総会、支部委員会、会合は、全て中止とした。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(12) 関門支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

海洋会創立100周年記念行事中止の連絡及び手配

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。

(13) 鹿児島支部

i) 支部総会・支部委員会・会合

①支部委員会 4月19日、8月23日、12月20日開催 (合計延べ18名)

②特別委員会 8/23、11/29、12/20、1/9、1/16、開催 (合計延べ26名)

ii) 支部主要事業

- ①小中学生対象の「海と船の作文コンクール」募集
- ②作文コンクール表彰式（12月20日桜島フェリーターミナル）
- ③海洋会創立100周年記念パネル展、海と船の作文コンクール展示
- ④鹿児島港入港練習船表敬訪問 1月31日 日本丸

(14) 越中島支部

i) 支部委員会：メールにて随時開催している。

ii) 支部主要事業

支部主要事業は、全て中止とした。